

## 評価基準

| 審査項目  |   | 配点  |
|---|---|-----|
| 企画提案に関する項目  |   |     |
| 企画提案仕様書に記載された目的および業務内容を十分に理解された提案内容となっているか                  | ① | 15  |
| 函館駅乗り入れ整備費等調査は、調査の前提となる現状を正しく把握し、提案者が有する知見が活用された調査手法となっているか | ② | 20  |
| 北海道新幹線並行在来線対策協議会資料の分析調査は、本調査の趣旨を正しく理解し、適切に実施される調査手法となっているか  | ③ | 15  |
| 旅客見込者数予測調査は、推計の前提となる現状を正しく把握し、適切に実施される調査手法となっているか           | ④ | 15  |
| 乗り入れ効果の検証調査は、鉄道事業に係る収益、費用等を正しく理解し、適切な推計手法となっているか            | ⑤ | 20  |
| 実施スケジュールは妥当か  | ⑥ | 5   |
| 提案価格に関する項目  |   |     |
| 提案内容が適切に計上されているか  | ⑦ | 5   |
| 事業者に関する項目   |   |     |
| 事業を適切に実施できる人員を有しているか  | ⑧ | 5   |
| 合計  |   | 100 |

審査項目ごとに、各委員（5名）の評価点を加算し、5で除した点数を、その審査項目の評価点とする。

評価点の合計が最も高く、70点以上の者1者を最適提案者として選定する。なお、該当者が2者以上あったときは、審査項目①～⑤の評価点の合計が高い者を最適提案者として選定する。

委員の各審査項目評価方法は次のとおり。

- ・ 極めて良好 配点×1.0
- ・ 良好 配点×0.8
- ・ 普通 配点×0.6
- ・ やや不十分 配点×0.4
- ・ 不十分 配点×0.2
- ・ 提案無、評価不能 配点×0